

韓国の特種緑化事例視察

東大門デザインプラザの薄層緑化

ソウル新庁舎の大規模な室内緑化

世宗市（セジョンシ）の屋上緑化

公益財団法人都市緑化機構では、韓国人工地盤緑化協会と相互協力協定を結び、屋上等特種緑化空間技術の発展のためお互いに協力を行っています。その一環として特種緑化事例視察を実施しています。

公益財団法人都市緑化機構

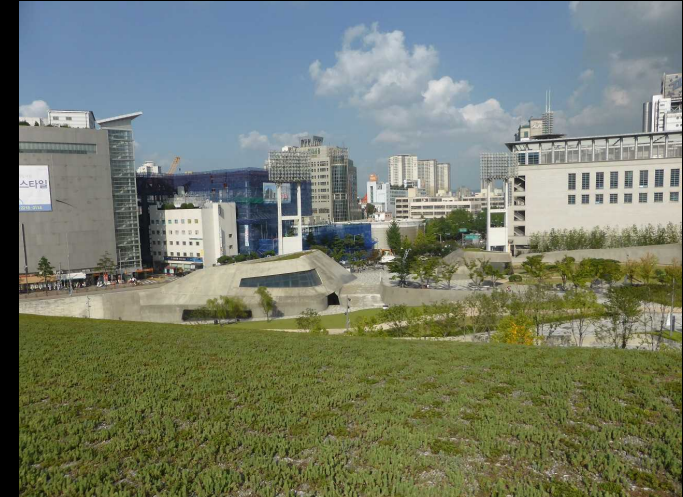
特種緑化共同研究会

■ 東大門デザインプラザの薄層緑化

ザハ・ハディド氏デザインの建築で2014年3月に竣工。敷地面積62,957㎡、建築面積25,008㎡、薄層緑化面積9,900㎡。防水仕様はTPO（熱可塑性ポリオレフィン系）シート防水。植栽はユニットでサイズは500×500。ユニットの固定は、同質のTPO製の台座を防水層に熱溶着し、その上に硬質樹脂製コーンをセットし、植栽ユニットをビスで固定。当初は多種類のセダムを使用して色のパターンをつくっていたが、現在は単色となっている。被覆率は約70%前後。ユニット固定、土壌、植生に関しては特殊緑化共同研究会のメンバーが協力している。



全景



セダム緑化



硬質樹脂製コーンと植栽ユニット

■ ソウル新庁舎の大規模な室内緑化

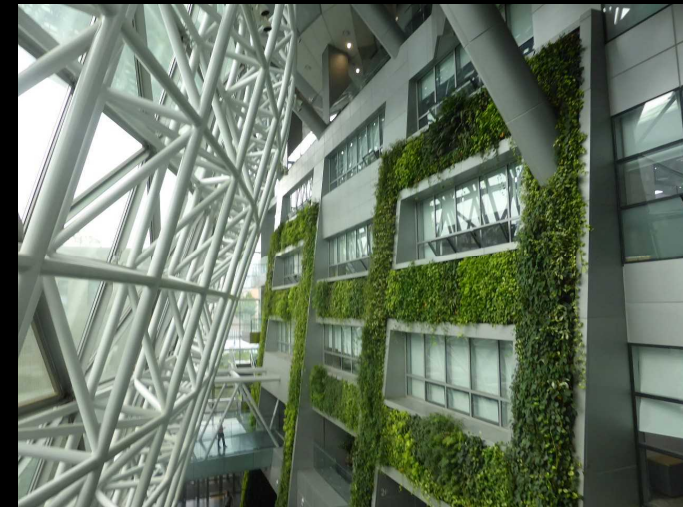
ソウル新庁舎の壁面緑化は、1階から7階の正面入り口に面した高さ28m、面積が約1,516㎡の大規模な屋内の壁面緑化。2012年8月に竣工。植物は14種で、ポトスが主体。特殊な油圧式多屈折作業車を使用し、10%は植替えている。また、庁舎の前の広い芝生広場では各種のイベントが催されている。



改修前の道路（＊パンフレットより）



工事中（2004年）

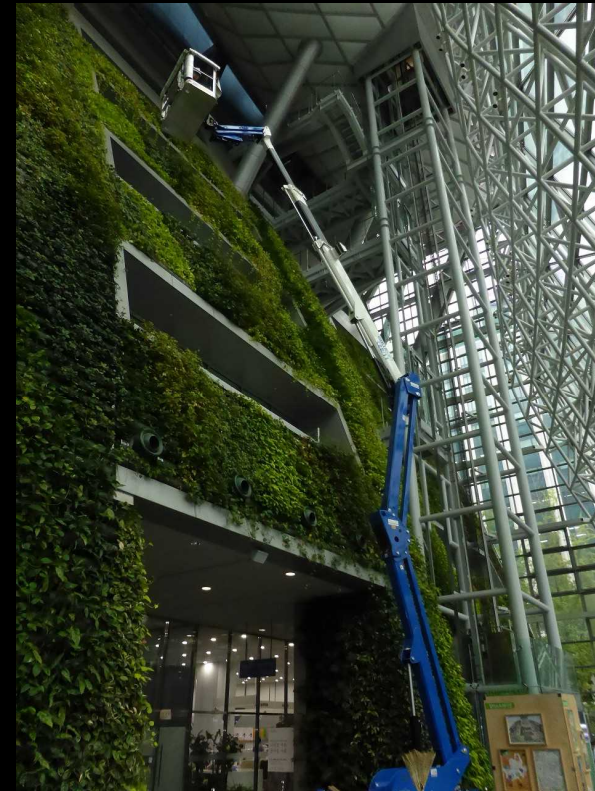


工事中（2004年）

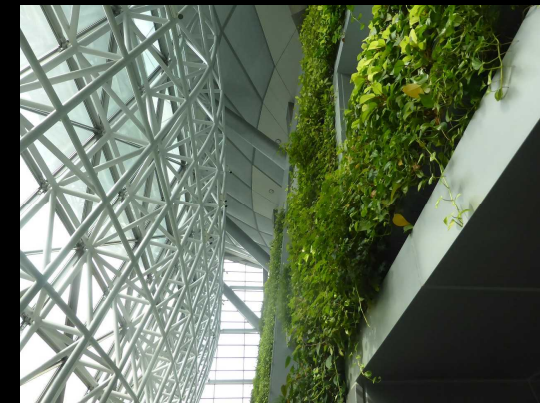
■ ソウル新庁舎の大規模な室内緑化



上階からの景観



特注の作業車



1階からの景観



1階



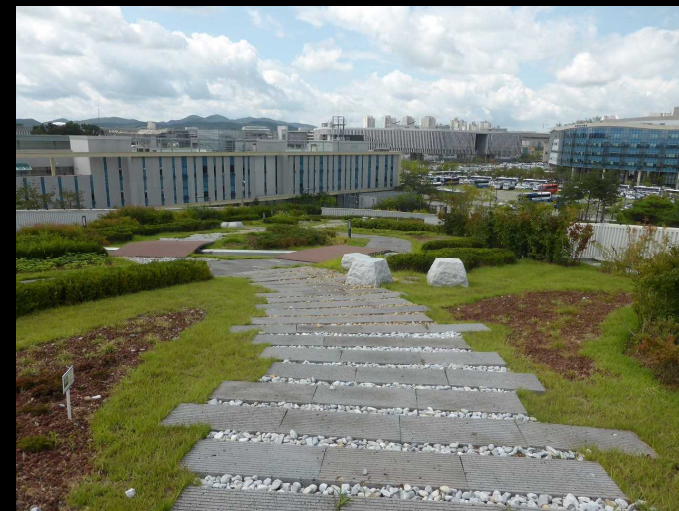
緑化植物とコンテナ

■ 世宗市（セジョンシ）の屋上緑化

世宗市はソウルから南南東約130kmの場所に位置し、行政中心複合都市として2030年を目標に整備が進められている。屋上には世界一長い全長約3.6km、面積は約79,194㎡となる屋上緑化がされている。公開されているエリアはグラス類と草花、低木、高木の構成が基本の緑化で、ハーブや薬草、果樹、つる植物なども植栽されている。約半分の非公開の部分はセダム緑化が主体。



周辺の高層住宅と屋上緑化



長く続く屋上緑化



円形のパーゴラ